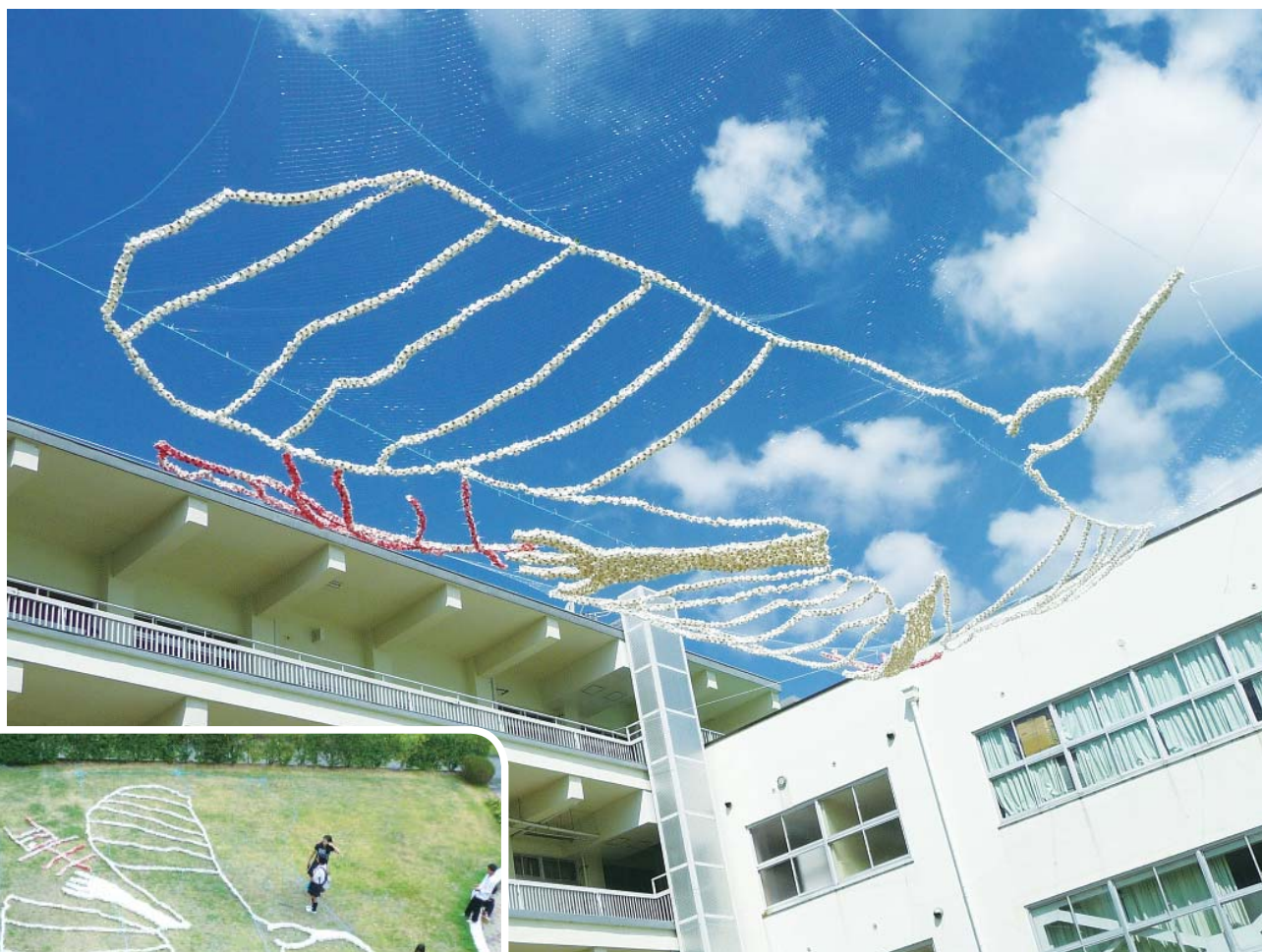


耐久高等学校同窓会報

耐久



快晴の秋空に羽ばたくビッグアート「耐久の天上絵」

一般来場者1,000人を越えた2010年度文化祭。

テーマは「青春の風を感じろ！」

～ Memory of Best Friends ～

全校生徒によるビッグアートは、文化祭実行委員が企画し全クラスが作業に関わった。

使用済みバドミントンの羽6,500個を連結した天上絵が中庭上空に見事に羽を広げ、青春の風を吹かせた。

NO. 27

創立 160 周年記念事業実行委員会 発足

本校は平成24年に創立160周年を迎えます。平成21年11月19日に、その第1回準備委員会が開催されて後、今年度2回の準備委員会が開催され、学校・同窓会・PTAによる創立160周年記念事業実行委員会が発足しました。

◇経過報告

- ・第1回準備委員会（平成21年11月19日）
- ・第2回準備委員会（平成22年6月30日）
実行委員長・副実行委員長 決定
- ・第3回準備委員会（平成22年7月28日）
実行委員メンバー決定・委嘱
- ・第1回実行委員会（平成22年9月29日）
実行委員自己紹介・記念事業について
- ・第2回実行委員会（平成22年11月17日）
事業内容・記念グッズについて
- ・第3回実行委員会（平成23年1月20日）
同窓会名簿・記念式典について



濱口梧陵銅像

◇記念事業の概要

- 1 記念式典（平成24年11月）
 - 2 ・記念講演 アトラクション 他
 - 3 同窓会名簿の発刊
 - 4 記念グッズ（ミニタオル）の販売
 - 5 記念展示
- ※今回は募金（寄付）活動は行わないことに決定

実行委員長	下野 憲英(同窓会長)				
副実行委員長	中嶋 康彦(学校長)				
	圓生 浩明(PTA会長)				
本部同窓会	宮井 慶三	棚野 裕明	法眼 貞子	半辺みつ子	
	古川 友子	大西 義弘	大西 和彦		
有田耐久会	柏原政夫美	大浦 睦美	三角 治	辻岡 俊明	
PTA役員	的場 久	弓場 守	田中 弘幸	岩上 俊美	
	南 賀也	生賀 美紀	棚野みのり		
学校職員	岩崎 浩久(全日教頭)	貴志 武久(定時教頭)	東田 和也(事務長)		
	白井 敏之	川口 裕幸	川口 勉		
顧問(相談役)	橋本 佳己	伏木富紀子	齋藤春太郎	清水 康夫	

同窓会活動報告

2010(H22)年

- 8.25 四役員会（学校）
9. 5 関西耐久会総会（H大阪ベイタワー）
……中嶋校長・下野会長・事務局
- 18 耐久高校文化祭への参画
（同窓会テント設置・飲み物サービス他）
- 29 第1回創立160周年実行委員会（学校）
- 10.27 四役員会（学校）
- 11.17 第2回創立160周年実行委員会（学校）
- 22 「頑張れ母校先輩が先生」則岡宏牟氏講演会

12. 7 四役員会

- 21 会報編集委員会（学校）

2011(H23)年

1. 2 組織強化支援事業 高31期同窓会（Hグランピア和歌山）
- 2 組織強化支援事業 高59期同窓会（鮎茶屋）
- 20 第3回創立160周年実行委員会（学校）
- 26 会報編集委員会（学校）
2. 4 本部役員会
- 28 卒業生クラス代表との懇談会（学校）……下野会長

有田耐久会

会長 柏原 政夫美
〒643-0004 有田郡湯浅町湯浅 1985
耐久高等学校・同窓会事務局
Tel 0737-62-4148

関東耐久会

会長 九鬼 利郎
〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-3-12-1002
株式会社 オフィス ココ 桜パンケット
Tel 03-3359-9520

和歌山耐久会

会長 田辺 善彦
〒640-8144 和歌山四番丁 26 番地の2
田辺法律事務所
Tel 073-431-2801

関西耐久会

会長 萩 平 勲
〒540-0012 大阪市中央区谷町 1-3-17-301 号
ビジネス インテグレート(株)
Tel 06-6941-8282

同窓会のホームページ URL <http://www.taikyuu-h.wakayama-c.ed.jp/obroom/obindex.htm>

学びの宝庫「稲むらの火」

校長 中嶋康彦

濱口梧陵先生の「稲むらの火」が六十四年ぶりに教科書に採択されました。しかも、この「百年後のふるさとを守る」へ光村図書出版「国語5年」は和歌山全県下の小学校で使用されるようです。ボリュームも十一頁にわたるそうです。先生を校祖の一人と仰ぐ耐久高等学校として、誠に慶賀に堪えないと思います。

徳朗読劇の指導「小学校新学習指導要領対応〈黎明出版〉に「稲むらの火」が教材化されています。これらの教材をみるに、「稲むらの火」の事績は学ぶべき内容が豊かであることを表しているといえます。

今回の「稲むらの火」の教科書採用は、かつて中井常蔵氏の『稲むらの火』が昭和十二年から昭和二十二年まで国定教科書で掲載されていた内容の復活だけではないように思われます。それは、国語科だけではなく社会科の「災害に強い地域にするために努力した人」小学社会3・4年(下)〈日本文教出版〉や「新しい社会」5年(下)〈東京書籍〉に、理科では「わくわく理科6」〈新興出版社啓林館〉にも登場しています。ボリュームも日本文教出版では二十頁もあります。また、教科書以外にも道徳の人命尊重の指導教材として、「道徳の授業が100倍面白くなる道

濱口梧陵先生の安政南海地震の津波到来からの村民救命とその後私財を投入されたこと、村民がそれに応えて汗を流して広村堤防を完成させたことは、応急・救助・復旧・復興という、防災の一大模範であることは言うまでもありません。そればかりか、「稲むらの火」の自助と共助そして民間活力の導入は、防災のみに止まらず、私たちが今日の社会を生きる上での果たすべき役割を指し示してくれているようです。加えて、子ども達が濱口梧陵先生の事業を調べ、考え、気づいていく学習は、子ども達の確かな郷土愛を培うとともに、先生が憂い耐久舎設立に至った、我が国への深い思いの育成に繋がっているのではないのでしょうか。

「稲むらの火祭り」に参加して

常任幹事 和泉保廣(高22期)

「稲むらの火祭り」に参加することを同窓会(有田耐久会)活動の一環に取り入れたらとの意見があり、10月16日に本部同窓会下野会長、宮井・棚野・古川副会長と私が体験することになりました。会場である広川町役場前でのセレモニーに参加、なかでも広小学校6年生の合唱「稲むらの火」へ津波から村を守った男の話には一同感動して聞き入りました。

夕刻になり、次第に広川町役場前に住民が集まってくる。先生に引率された町内の小・中学校の児童生徒たちもすでに到着し出番を待っている。午後6時、勇壮な和太鼓が打ち鳴らされる中、児童生徒を先頭に松明を手にした住民も「かがり火」から火を取り広八幡神社へと出発する。行列は船着場を見ながら左に折れ町中に入っていく。

ここから神社の近くまでは一直線の道程となる。沿道では住民が笑顔で行列を迎える。やがて一人の持つ松明の灯がつながり一本の長い炎の帯となり、ゆっくりゆっくり移動していく。出発して30分ほど、先頭が神社に到着する頃、神社下の田んぼに高く積み上げられた「稲むら」に火が放たれ、いっきに燃え上がる。炎は人々の顔を赤く染め、あちらこちらから歓声が沸き上がる。神社では女性部の人たちが心のこもったうどんを用意して迎えてくれる。耐久高校の生徒らも会場整理に活躍している。

この火祭りで素晴らしいと思うのは、行政ではなく住民が主体となり開催されていること、また町内の児童生徒も参加していることです。

2011年は「稲むらの火」の出来事から157年目となるそうです。梧陵さんの偉業は、津波から大勢の村人の生命を救っただけでなく、震災後に私財を投げはたし被災民への雇用対策も兼ねた広堤防の建設に、漁民には船を住民には家など救いの手を差し伸べ、村人の離散から広村を守り復興させたことです。

これらの偉業は、この火祭りを通じて後世に語り継がれ、また梧陵の「助け合いの精神」は、広く私たち社会の中に生かされなければいけないと思います。

私はこの偉大な人、濱口梧陵翁の創設した学舎「耐久」の卒業生であることを心から誇りに思います。



学校支援活動

「がんばれ母校！先輩が先生」



十一月二十二日、恒例の「先輩を迎えての講演会」が、プロフィールで紹介の異色の先輩則岡宏牟氏をお招きし、全校生徒・職員・同窓会有志の参加の下に開催された。趣味の旅行談に端を発し、米国始め多くの国々を歴訪され見聞を広められたお話に魅了された。

講師プロフィール
則岡 宏牟 氏

- ・昭和22年 有田川町生まれ
- ・昭和41年 耐久高校卒業（高18期）
- ・昭和41年 尼崎市の個人商店にて材木商の修行
- ・昭和49年 則岡木材 設立
- ・昭和53年 （株）則岡工業 設立
- ・昭和55年 （株）N・N・コーポレーション 設立

現在、古民家再生事業に傾注し、文豪谷崎潤一郎に関連する家屋などを手がけている。

36歳で中国語、40歳で英語をマスターし、現在は韓国語を勉強中。

40歳で船舶免許、60歳で航空操縦免許（パイロット）取得。

趣味は旅行、クラシックカー・ヴィンテージバイク収集、飛行機操縦など多数。

生徒感想記

3年 玉置 香



今回の講演を聴かせて頂き、則岡さんの言葉の中からたくさんのお話を学ぶと同時に、自分がこれから歩んでいくべき人生について改めて深く考えさせられました。特に自らの進路実現に向け、日々奮闘している私たち三年生にとって、この講演はたいへん意味のあるものになりました。

「慕直前進」という言葉のとおり、則岡さんは自らの人生に常にゴールを設置し、それに向かい努力をし続けてこられました。ゴールを設置するだけならば、それは誰にでもできることです。大切なことは、目標達成のために自分自身が意欲を持ち、ゴールに向かい常に努力を惜しまないということなのです。それは、人間が生きていく中で最も大切なことであり、絶対に怠ってはならないことだと講演を聴かせて頂きながら強く感じました。一つは、ゴールを迎えることで達成感を感じることができれば、それはまた次に何かをやってみようという向上心へ

とつながるということです。そうしたことの繰り返しで私たちの人生をより豊かなものへと変えてくれるということをし、心に強く刻むことができました。

また、何か自分の好きなことに熱中することは、とても素敵なことだと思いました。自分が旅をした世界各国の写真を一つ一つ私たちに紹介してくださった則岡さんは、本当に生き生きとしておられ、聞いているこちらまで、まるでその国を訪れたことがあるような気分を味わうことができました。私にも今趣味と呼べるものがあり、それに熱中しているときは本当に楽しく、生き甲斐というものを感ずることが出来ます。これからの私の人生の中で、あといくつ自分が趣味と呼べるものに出会えるのか、とても楽しみにになりました。

このような則岡さんの生き方を参考にさせて頂き、私自身も自分の夢や目標のために、また、自分で納得のいくような生き方ができるように、日々「慕直前進」しながら自らの人生を歩んでいきたいと思いました。

3年 國弘 直豊

「がんばれ母校先輩が先生」の講演会で、則岡先生はご自身の卒業後の話や、様々な趣味について話してくださいました。僕が今回印象に残ったのは、講演のタイトルでもある「慕直前進」という言葉です。慕直前進とは元々「慕直に去れ」と言う言葉で、何事でも計画中は大いに悩み、検討を加えるべし、結論が出たとき、真っ直ぐ目的に向かって、脇目も振らず進んで行けと言う意味です。

趣味や好きなことに慕直前進している人は素晴らしいと思います。しかしそれは努力が足りないと思えません。ついつ

い自分は時間がないからと言い訳して努力することを避けがちなので、先生の「時間をつくることできる」という言葉が強く心に残りました。先生は、「どんなことも集中して決定をはやくして無駄な時間を過ごさなければ、いくらでも時間は作ることはできる」とおっしゃっていました。実際に先生も仕事など多忙を極め、時間があまりないはずなのに、様々なことにチャレンジされていて、まさに時間をうまく作っているのだと思いました。

最後に、僕は今回の先生のお話を聴き、自分の目標を設定しその目標を達成することができたら、さらに次の目標を立て、いくつもの目標に向かって全力で取り組み、将来に向けて慕直前進していきたいと思っています。

有田耐久会より 図書費目録の贈呈

平成二十二年十二月二十二日 校長室にて、有田耐久会柏原会長より図書購入費の目録が、生徒会長中山敬三君（1年）に贈呈された。



特集

様々な文化との出会い

— 芸術文化で地域おこしを —



総田 博美

耐久高校在学中は体操部に所属していたにもかかわらず、運動オンチで文化系だったところ、短大在学中、学校公演で初めてプロのオーケストラの演奏を聴き深く感動したことが、芸術・文化に傾倒していくきっかけだったように思います。

結婚後、子育て中に出会った親子で生の舞台を鑑賞する「子ども劇場」活動の中で、バレエ・演劇・音楽・古典芸能等様々なジャンルの舞台芸術に接し、その魅力に取り付かれ、やがて運営に関わるようになり、企画することのおもしろさも次第にわかるようになりました。

その後、「芸術文化で地域おこしを」をコンセプトに様々な活動に関わってきました。

平成13年和歌山市において、和歌の浦地域活性化ビジョン策定委員を勤めさせて頂いたこともあり、その頃まだ建物が残っていた「不老館」を核に（保存し）、和歌の浦の文化の拠点に……と願っていたのですが、「不老館」は当時の市長の独断であえなく取り壊されてしまいました。

そのくやしさと無念さを抱えながら、その後その場所に完成した「アートキューブ」の運営を考えるグループにも参加し、「アートプロジェクト和歌山」を主宰し、その小さなホールで様々なジャンルのコンサート・まちづくりセミナー等を開催してきました。

その頃は皆、エネルギーもありそれらを一過性のイベントにするのではなく、芸術・文化で地域を変えていくのでは？と意気込んだりしておりました。

しかし、そう簡単に地域は変わるものではありませんでしたし、実りは少なかったのですが、唯一成功例と言えるのは「万葉薪能」。

平成8年夏「日前宮薪能」での演出「鶴」を観た後、万葉歌に詠われた和歌の浦を題材に誕生したこの「能」をなんとかその地で上演したいとの想いから、友人2名と3年間の準備期間を経て実行委員会を作り、平成11年10月10日片男波公園野外ステージでの開催にこぎつけました。



第11回「万葉薪能」巴
撮影 久保 博山

第1回からして千人以上のお客様をお迎えしたその日の感動は、生涯忘れることが出来ません。

第2回目からはその運営を退いた為、私たちは種を蒔いたにすぎませんが、その後NPOの組織（平成14年設立）が出来、公演は12回を迎え、年間を通して和歌浦の環境保全を守る活動と共に評価され、平成16年には「全国ふるさとづくり賞」振興奨励賞を受賞するまでになっていることから、文化は育つものだ実感しております。

その「鶴」を舞った喜多流能楽師・松井彬氏は、和歌山市を拠点に世界各国で公演活動を行っている、重要無形文化財総合保持者です。

私は十年来、能楽師（古典）の域を超えた芸術家（シェイクスピアから前衛まで）松井彬氏とその子息俊介氏の多彩な活動を多くの人々にお知らせし「能」の魅力伝えていく為に出来た、松井彬・俊介を支える「翔の会」（後援会）の事務局を担当しており、平成17年7月には耐久高校の学校公演として有田市民会館に於いて、松井彬の「能」についての

話と創作能「身代わり桜」を上演の機会があり、私もお手伝いさせて頂いたのですが、母校の生徒の皆さんが本当に集中して話を聞き、熱心に舞台を鑑賞して下さったことに、いたく感激したのを覚えています。

今年、4月8日には和歌山市市民会館に於いて、和歌山市在住のフラメンコ舞踊家、森久美子さんとその舞踊団との競演（セッションとも言える）で、「能とフラメンコで綴る源氏物語」— 情念 悲恋の六条御息所 — 開催の運びとなりました。

森久美子さんも和歌山を代表する芸術家であり、世界に向けて発信されている方です。「能」の静と「フラメンコ」の動とが、舞台の上でどのように融合されるのか、とても興味深く、今までにない「源氏物語」の世界へと誘ってくれることと思います。

様々な文化と出会い、様々な人々と出会い35年余り住んだ和歌山市から、出身地でもある有田市に住まいを移した今、これからはこの地でちよつとステキなシニア文化を育んでいけたら……と想いを巡らせております。

プロフィール

- ・有田市出身
- ・耐久高校20期（昭和43年卒）
- ・和歌山信愛女子短期大学卒業
- ・アートプロジェクト和歌山主宰
- ・松井彬・俊介を支える「翔の会」事務局
- ・「能とフラメンコで綴る源氏物語」上演実行委員会 事務局

能とフラメンコで綴る源氏物語

情念 悲恋の 六条御息所

日時 4月8日（金）19時開演
場所 和歌山市市民会館 小ホール（全席指定）

◆チケットのお申込み・お問い合わせ TEL. 0737-82-4487
メール apwakayama@mountain.ocn.ne.jp 090-1447-0361（総田）
主催：「能とフラメンコで綴る源氏物語」公演実行委員会 後援：スペイン大使館 和歌山県・市教育委員会 他

電気工事・浄化槽維持管理
各種水道設備工事

古川総合設備

有田市古江見75-5
TEL(0737)82-4466
FAX(0737)82-2888

第5回 ゆあさ行灯アート展

日時 4月13日（水）～17日（日）18:30～21:00

場所 湯浅町重要伝統的建造物群保存地区

問い合わせ先 グリーンソサエティ
三ツ村 0737-63-0401

貸し出し用校章小旗と名札を用意しています。同期会の集いに、ご利用下さい。（事務局）

近畿大会優勝までの道のり

本校軟式野球部は地区大会を経て、近畿大会で初優勝をなし遂げる事ができました。左記、試合順に結果を報告致します。

◆(県)高等学校軟式野球新人大会(兼)秋季近畿地区高等学校軟式野球大会

1回戦(10月23日マツゲン有田球場)
対桐蔭高校 7対0で勝ち

2回戦(10月25日球場同じ)
対箕島高校 2対1で勝ち

決勝戦(10月26日球場同じ)
対南部高校 3対0で勝ち

この大会で新人優勝、近畿地区大会への県代表が決まりました。

◆平成22年度秋季近畿地区高等学校軟式野球大会
1回戦(11月5日兵庫県三田城山公園野球場)
対神戸学園 1対0で勝ち

2回戦(11月6日球場同じ)
対龍谷大平安高校 4対0で勝ち

決勝戦(11月7日球場同じ)
対桃山学院高校 3対1で勝ち

優勝決定後、優勝旗を授与され選手たちは6回目の校旗掲揚と校歌斉唱、両校の応援団の祝福を受けながら内野を行進しました。以上の大会中特筆すべきは、全試合を投げ抜いた主戦投手中岡はもちろん、少ないチャンスでも全員で得点を挙げようとする突破力だと思っています。また目立たない仕事をし



組織強化支援活動



普31期
高理8期

「昭和54年卒・第31期普通科・第8期理数科」同窓会

本年1月2日(日)、グランビホテル和歌山において、当時の恩師(担任・副担任)並びに、耐久高校の校長先生・教頭先生のご出席を賜り、昭和54年卒業生「第31期普通科、第8期理数科」の同窓会を参加人数約140名で実施しました。

同窓会は、次のように進行了ました。①同窓会開始・司会の東氏・上統さんの開会の辞。②来賓挨拶・柏原政夫美氏(恩師代表)・中嶋康彦氏(現耐久高校学校長)。③幹事団挨拶・富上道夫(同窓会幹事長)の同窓会開催の経緯並びに出席者への御礼等。④乾杯・岩崎浩久氏(現耐久高校教頭)。以上をかわきりに、同窓会は盛大に開催されました。

歓談は、新谷彰氏(同窓会世話人)が今回のために卒業アルバムから抜粋し作成したスライドショーを全員で鑑賞するところから始まりました。高校生当時の美男美女が、現在では、紳士淑女(猛者女傑?)に変貌している様子に、一同驚きと感嘆の声が上がり、同窓会はとても和やかな雰囲気となりました。

歓談の途中、出席していたいた恩師のご挨拶を頂戴しているとき、我々は、高校時代に戻ったかのように先生方のお話に耳を傾けていました。また、会場内のいたるところで、互いに高

校時代のニックネームで呼び合い、昔話や思い出話に花が咲いていました。まるで高校(青春)時代フィードバックしたようでした。「光陰矢のごとく」予定した1次会の3時間は、思ったよりも早く過ぎてしまったため、次回幹事長三木氏と幹事2名を決定した後、幹事団代表謝辞、並びに司会による閉会の辞をもって無事終了しました。

参加者のほとんど(約110名)は、1次会の盛り上がりそのまま2次会へとなだれこみ、さらに旧友とのなごりを惜しみました。

このように、同窓生と旧交を温めたり、恩師を囲んで歓談している様子を見たときに、我々、同窓会幹事団は、同窓会を実施してよかったと、今回の同窓会に関する準備会を振り返りながら思いました。

このように同窓会が無事終了したのは、幹事団「クラス世話人(各クラス…男子1名・女子1名…計18名)・司会・幹事(川井氏・山田氏の案内発送や人数集約等)に支えられた結果です。幹事団の皆さんのご協力に改め



て感謝申し上げます。

また、今回の苦しい日程設定の中にもかかわらず、ご参加いただきました来賓の方々、並びに同窓生の皆様にも重ねて御礼申し上げます。

次回の同窓会では、同窓生の皆さん並びに恩師の方々と再び元氣でお会いできることを楽しみにしています。

代表幹事 富上 道夫

同窓会への問いかけ・ご提言は、何なりとお申し出下さい。(事務局)

てくれるマネージャーにも感謝の気持ちを忘れてはなりません。今後全国大会出場を目指し、球春到来と共に更なる躍進のために進んでいきます。

軟式野球部顧問 玉置 淳

耐久高校軟式野球部 紹介

部 長 玉 置 淳	監 督 種 治 宏 樹
-----------------------	----------------------------

メージャー												9 8 7 6 5 4 3 2 1									打順 守備
												5 7 6 4 1 3 2 9 8									
江川	木村	山崎	梅本美乃里	小原	楠本	應矢	林	竹鼻	岩崎	上田	裕田	則藤	藪野	後	高垣	中岡	宮村	田村	楠部	氏名	
幸	優	香		啓矢	將貴	遼作	晃希	大智	祥大	裕平	裕隆	悠人	昇希	盛太	大輝	俊介	茂人	貴成	良太		
1	1	2	2	1	1	1	1	1	1	2	2	1	2	2	2	2	2	2	2	学年	



副主将

主 将
副主将

「祝電披露」

秋季近畿地区高校軟式野球大会の初優勝
おめでとうございます。

私も軟式野球部のOBとして誇り高く、喜びで一杯です。どうぞこれからも更なる練習・精進でご活躍下さる事を心よりお祈り致します。

公明党政調会長代理

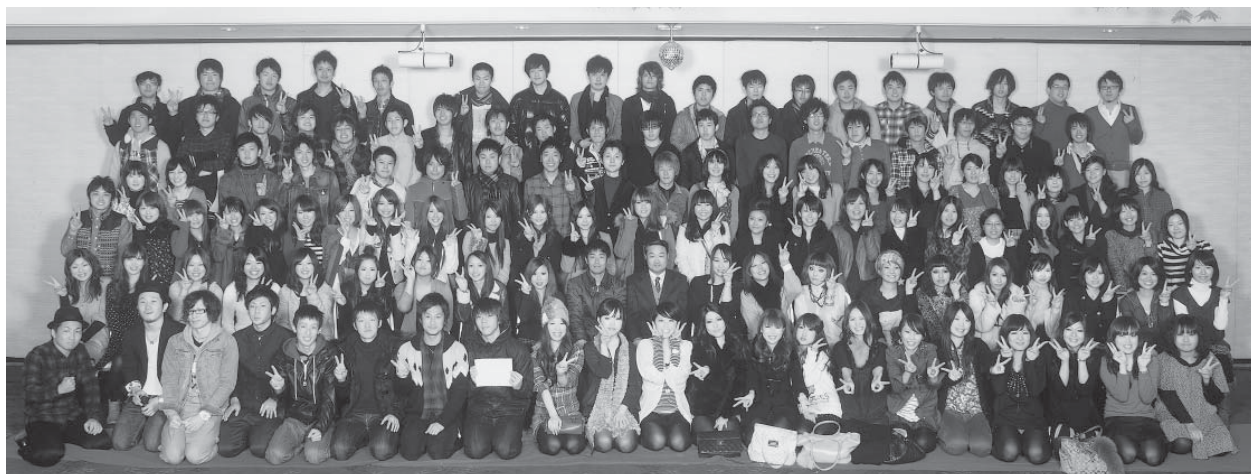
衆議院議員 西 博義

組織強化支援活動



高59期

平成19年卒耐久高校同窓会を終えて



2011年、新しい年を迎えて間もない1月2日、私たち平成19年耐久高校卒業生は有田市

る鮎茶屋で同窓会を行った。54名、女子69名、そしておい中この日のためにわざわざ時間を作ってくれた3名の先生方を含む126名で開催された同窓会は終始笑い声の絶えない同窓会となった。

参加者、全員による集合写真撮影で幕を開けた同窓会は、1年生のころに行った沖縄への修学旅行のDVD上映、「今だからいえるごめんなさい」の発表など、現在と過去をつなぐイベントが盛りだくさんであった。誰もが幼さの残る自分や友の顔に照れくささを感じ、目の前にいる成長した自分や仲間の姿に、少しばかりの誇りを感じたのではないだろうか。あの頃より、大人になった友の顔はとても輝いて見えた。

耐久高校を卒業して早4年。それぞれの道をそれぞれで生きている仲間たちとの再会は、言葉で表せないほどの優しさで温かさで溢れていたように思う。同じ3年間で

過ぎた。ただそれだけで、顔を見ればすぐにあのころに戻って話ができる。あらためて同窓生の存在の大きさに気付けたとともに、同窓生の大切さを再確認することができた1日であったように思う。

そういったことに気付けただけでも、今回の同窓会に携われて本当に良かった。今回の同窓会開催にあたり、何か月も前から準備をしてくれた幹事の人々、そして今回の同窓会を楽しんでくれたみんな、参加できずとも今回の同窓会を楽しみにしてくれていたみんな、みんながいたから本当に素晴らしい同窓会ができたと思っている。今回の同窓会にどのような形であれ携わってくれたみんなにこの場を借りて心からの「ありがとう」を送りたい。

久しぶりに再会できた仲間の笑顔。あの頃と変わらない表情で笑いかけてくれた友たちに、「人が繋がる」ということの意味を教えてもらった気がする。耐久高校で同じ時間を過ごし同じ思い出を共有できる仲間へ。いつか笑顔でまた会おう。

西川 恭矢

最近まぎらわしい呼びかけの電話や郵便が多くなった様です。十分ご注意ください。

関西耐久会

平成22年度 関西耐久会総会



谷口 維紹 教授

9月5日、「ホテル大阪ベイタワー」から耐久高校の校歌が聞こえてきました。姿勢を正し、♪のめなびくおいしやま♪と声高らかに歌う153人は何十年かの過ぎた時を忘れ、みんな耐久高校生に戻っていました。萩平会長の挨拶に続き、ご来賓の下野同窓会会長、中嶋校長、西衆議院議員のご祝辞をいただきました。

その後、18期の谷口維紹氏に「免疫とがんの研究を巡る私の研究歴」というテーマで講演をしていただきました。谷口氏は2009年に文化功労者に顕彰された、東京大学大学院医学系研究科教授です。旧清水町の複々式の小学校で、耐久高校に行くことを夢見ていたという話から、テニスをして楽しかった高校時代の話、そしてノーベル賞の朝永振一郎博士に魅せられて東京教育大学（現筑波大学）に進学した話。ナポリ大学、チューリッヒ大学、ハーバード大学で世界的に有名な博士達と切磋琢磨した研究生活の話。免疫とがんの研究を簡単に分かりやすく話してくれました。世

界中から講演の依頼が殺到しているという教授にもかかわらず、親しみやすく温かい人柄がにじみ出るお話でした。同期の18期の皆さんが、湯浅からバスを仕立てて応援に来てくれました。同期を代表して、二階氏が祝福の言葉を、川本氏が手作りの花束を贈りました。18期の団結力の強さもよくわかりました。

阪本名誉会長の乾杯の発声で懇親会が始まりました。13期の菊山ひろみ氏がシャンソンを熱唱して会場のムードを盛り上げてくれました。菊山氏は耐久高校の音楽部で活躍し、宝塚の深緑夏代さん、風かおるさんに師事しシャンソン歌手として活躍されていました。今はボランティアで活動されています。

紀州の味覚「なれずし、しらす」も登場し、それぞれのテーブルで積もる話が開きました。同級生だけでなく、友達のお兄さんやお姉さんに会えるというのが同窓会の面白さです。ご来賓の上山湯浅町長、田辺和歌山耐久会会長、柏原有田耐久会会長の紹介の後、各期ごとの写真撮影です。今回のチャンピオンは18期43人で、2位の16期25人を大きく引き離しました。

各期の幹事が苦勞して参加者を



谷口教授ご夫妻

募り、こんなにぎやかな楽しい同窓会が開催できるのです。初めて大阪方面に出てきて不安を感じている若い方々が、この同窓会に参加すればどれだけ心強いことでしょう。次は、高校を卒業して初めての方には、無料で招待したいと考えています。この3月に卒業し、故郷を離れるたくさんの方の参加をお待ちしています。23年度は9月4日（日）です。では、次回もたくさんの方が集まり、楽しい会が出来ることを期待して、22年度の関西耐久会の報告とします。

関西耐久会幹事長
地引 民子（高17期）



ご来賓のみなさん

第9回 関西耐久会 ゴルフコンペを開催

平成22年11月9日（火）

少し風が強かったが天候にも恵まれ、泉南カントリークラブでの2回目、第9回のゴルフコンペを23名の参加で開催し、楽しく交流を深めました。



地元有田からも下野会長をはじめ多くの同窓生の皆様にご参加いただきました。優勝は第十五期の森本好典さんでネット70でした。参加賞はいつもの湯浅産の干物で大好評でした。

次回は5月13日（金）に第10回のコンペを同じく泉南カントリークラブで開催予定です。同窓会員、関係者の皆様の多数のご参加をお待ちしています。

関西耐久会ゴルフ幹事
岡 伸彦（高14期）

情報ボックス

組織強化支援対象記合同窓会

いよいよ来年はあなたの期です！

- ・ 高32期（昭和55年3月卒業）
- ・ 高60期（平成20年3月卒業）

関東耐久会



東京・四季劇場「秋」にて

関東耐久会 観劇会

平成22年10月31日(日曜日)

関東耐久会の活動で発足以来
続けてきました秋のバス旅行を
今回観劇会としました。

団体で席を確保する為に、前
売りチケットを購入することと
なり日時や参加人数を前もって
把握せねばならないことが大き
な問題でしたが、当初心配した
こともチケット配布で無事に済
み、当日を迎えました。(参加人
数38名)

「国超えて歌う一家」トラップ
家族合唱団の物語」や「菩提樹」

の題で翻訳出版され、1965
年映画のアカデミー賞を受賞し
たことで私たちにも親しみ深い
『サウンド・オブ・ミュージック』
の舞台を劇団四季のミュージカ
ルで鑑賞しました。

第二次大戦中、ナチス占領下
のオーストラリアで修道女マリ
アがトラップファミリーの一員
となり合唱団として歌で人々を
励まし続けた実話を基にした家
族愛と平和への希望を再現した
舞台でした。ドレミのうた、エ
ーデルワイス等きつと誰もが耳
にした歌で劇場の雰囲気も盛り
上がり午後の上演時間中、しば
らく現実を忘れて過ごしました。

鑑賞後は劇場近くのホテル最
上階のレストランにて真下に隅
田川・浜離宮・東京湾、窓の外に
東京タワー等広がる夕焼けを背
景に、会食しながら日頃の様子
など楽しく談話し解散となりま
した。今回、バス旅行ではお会
いできなかった方々の参加があ
ったことは喜びでした。これか
らも皆さんに喜んでもらえるよ
うな企画を考えてゆきますので
ご協力宜しくお願いします。

塚本かよ子(高25期)

関東耐久会 第7回ゴルフ大会

平成22年9月10日(金)に栃木県鹿沼市の
「広陵カントリークラブ」にて開催いたしました。



今回は少し参加者が少なく、9名でプレーいたしま
した。通例では前日に一泊いたし、翌日プレーするケー
スでしたが、今回は日帰りでのゴルフ大会でした。

優勝者は森 治夫様(昭和33年卒)でした。

有田耐久会

第4回有田耐久会ゴルフコンペ開催

平成22年10月20日(水)

有田東急ゴルフクラブに
於いて、7組28名の参加を
いただき恒例のゴルフコ
ンペを開催いたしました。

前回のようないきなり悪天候に
ならないかと心配しまし
たが、まずまずの良いコ
ンディションで一日プレ
ーでき、12名の方がグロ
ス80台と好スコアをマ
ークしました。



そんな中で今回は、初参加の丸山太一さん(43年卒)
がグロス88で優勝されました。ちなみにベストグロス
は、岩崎文彦さん(41年卒)の81でした。

次回は、3月23日(水)に有田東急ゴルフクラブで
の開催を予定しています。皆さんお誘い合わせの上
ふるって御参加下さいますようお願いいたします。

柏原 政夫美(高19期)



(I) 小学国語読本 卷十 (尋常科用)
(II) 小学科国語六 (国民学校用)

中井常蔵先生(旧中18期)の
「稲むらの火」がこの本の中に
載せられています。

※昭和十二年から尋常高等小学校用として(巻
十)、又、十六年から国民学校小学校用六とし
て昭和二十二年迄教材として使用されました。

お願い
この教科書をお持ちの方は、学校の方に
ご寄贈願えないでしょうか？

coffee & restaurant
DONKEY
ドンキー
上山哲司(高28期)
湯浅町駅前通商店街 TEL 62-3135

頑張れ母校・負けるな耐久

橋本印刷所
橋本佳己(高4期)

ペットと泊まるログハウスの宿
パートナーズハウス ゆあさ
横山 享
(高14期)
湯浅町山田山・TEL・FAX 0737-65-3411
URL: http://www.partnershouse.jp

則岡 宏 牟
(高18期)
www.sunnyside-nn.net

総合ビルメンテナンス業
(株)ウイ・キャン・コーポレーション
代表取締役 岡 伸彦(高14期)
社長 岡 勇作(高19期)
大阪市旭区中宮4丁目14番9号
TEL 06-6954-0346
FAX 06-6954-0577

◆ 地元、有田耐久会にご入会を！ (お問い合わせは事務局 0737-62-4148)



旧中42期
旧制県立耐久中学を
昭和23年に卒業の会

私達は旧制県立耐久中学校を昭和二十三年の三月に卒業、それぞれ進学もし、就職して苦難の道乗り越え退職してから早くも傘寿を迎えました。

今年も同窓会をということで、去る九月二十五日に実施しました。場所は橘家で、十八名の出席を頂きまして中学校当時の思い出話、あの校庭での中間運動のことや部活動で頑張ったこと、また

忘れられない南海地震による津波のこと等々親しく話し合い僅かな時間でしたが互いに旧友を温めあえたと思います。今後共耐久の真・美・健を忘れることなく進んで行きたいです。

榎木 現造



高5期
同年の皇后さまのお誕生日に同窓会

白きもの殖えて美し菊日和 任亘

今年の夏は殊の外暑く、秋の訪れも遅れましたが、十月ともなれば、凌ぎ易くなり、去る20日、21日、母校と、故郷を偲ぶ場所として最も相応し、国民宿舎、湯浅城に集まりました。

先ず記念写真を撮り、其の後各部屋に入

り、宴会は18時過ぎより、富山千秋氏の司会による、開会の言葉が始まり、校歌を合唱し、物故者44名の御冥福を祈って黙祷を致し、世話人代表の一言「私達高校時代、共に学び共に遊んだ170人、この三年間を共有する縁で結ばれた仲間です。この縁を確かめ、育ててゆくのが同窓会、今後免許限り永く回を重ねたい。」との挨拶で結び、千葉よりの友、石川忠雄氏の乾杯の音頭で宴が始まりました。

昨年館山寺温泉で逢った人も、又、久しぶりに再会した友も、一瞬の間に和気藹々と話が弾み、途中女性有志による踊りや、男性を交えてのカラオケで、時間の過ぎるのを忘れていたうちに、お開きの時が参り、「ふるさと」を合唱し、次回は京都、大阪に幹事をお願いして、二次会は別室に集り、町の夜景を楽しみながら、熟れ鮎や海老煎餅で盃を重ね、話に花を咲かせました。

翌日は湯浅の「重伝建」を、語り部さんと共に、昔を思い出しながら、楽しく散策の後、再会を誓って、それぞれの帰途に着きました。

童顔を残し老いたりの月 任亘

夏見 任亘



株式会社 柏原運送

柏原 政夫美 (高19期)

〒643-0032 有田郡有田川町天満60-1
TEL (0737) 52-5235
FAX (0737) 52-5630

田辺法律事務所

弁護士 田辺 善彦 (高14期)

〒640-8144 和歌山市四番丁26番地の2
TEL 073-431-2801
FAX 073-433-2299



株式会社 和通

代表取締役 中田 実宏 (高17期)

〒640-8341 和歌山市黒田279-4
TEL 073-475-0310
FAX 073-475-0320



橘 本
Wedding Hall
TACHIBANA

橋爪正文 (高39期)

ご予約は
TEL 0737-88-7005
FAX 0737-88-7775
URL <http://www.tatibanaya.jp>

〒649-0434 有田市宮原町新町17

「同窓会館建設」夢の実現にご理解とご協力を！

耐久高校柔道部 OB 有志だより

本年1月3日、約10年ぶりにOB有志が一堂に会し、懇親会を開きました。

有志が集うのは2回目ですが、今回は、把握できて



いる50名の住所録を作成し、配布したところ参加者から、「柔道部活動をもっと支援すべきだ。そのためにOB会を立ち上げ少しずつでも会員を充実すべきだ」との意見が多く出たため、その場で「OB会」を立ち上げ、満場一致で中井賢次氏を初代会長に擁立いたしました。

この会員充実のため、高校在学中、柔道部に在籍していた方の、卒業年月、住所氏名、電話番号等の情報を、ご本人、または同窓生の皆様から頂きますようお願い申し上げます。

なお、連絡先は、以下の通りです。

広川町唐尾1118-3 舟瀬 亨

TEL 0737-62-4939・FAX 0737-65-3377

携帯 090-3708-0890



高13期

昭和36年卒業生同窓会

平成22年8月21日

於 ホテルグランヴィア

東京発下りの新幹線の中で、明日は誰に会えるかと、さいたま市在住の私の胸は高鳴っていた。

密かに憧れていた人は、病がちな彼は、みんなのマドンナなりし人は、前回の二次会で飲んだ気のおけない連中はまた今回も参加しているか？等々頭を駆けめぐらした。

また、久し振りに広や湯浅方面に足を伸ばし、濱口梧陵先生のお墓や明恵上人ゆかりの施無畏寺にお参りしたことも願っていた。

明けて当日。同窓生298名中3割強の93名が出席し、まずは盛況であった。すでに何回かの同窓会で名前と顔の不一致の人は少ない。

開会に先立ち全員の記念写真を撮影。残念なことに、物故者は28名を数え、全体の10%弱となっていた。

司会の生駒敏賀君の合図でまず、亡くなられた師と友に1分間の黙祷を捧げる。

……天界の同窓生の面影が走馬灯のごと、頭を駆けめぐらした。

そして開会。

まず、湯浅商工会議所会長の白子勝昭君の気配りのある流暢な開会の挨拶があった。

続いてイズミヤ(株)現会長の林紀男君の乾杯の音頭。イズミヤのコマーシャルを巧みに織り込んださすが現役の企業人とおも

わせるユーモアあふれる挨拶。

その後歓談となる。回転テーブルには盛

りだくさんの料理が次々と運ばれ、各種酒類が並べられ、杯のふれあう音と再会の喜びの挨拶が各所で聞こえてくる。

話がつきないうち、カラオケが始まった。

上山(旧姓 保関)寿子さんの詩吟と唄はプロも顔負け。

恒例となった思い出の写真、今回高校入学時のクラス別集合写真が1組から6組まですべて映し出され、あつという間の50年間をタイムスリップして、あの懐かしい日々に戻りたくれ、必ずしも平坦でなかった吾が人生の、今の幸せを同窓生とともに噛み締めたことだった。

中締めは小野(旧姓中村)泰尚君、さすが元校長先生びつたりと締まった。

やがて再会を誓い名残を惜しみながら、各クラス毎に二次会へと散った。

次回は古稀を越える。まだ小僧っこだ。喜寿、傘寿は当然米寿、卒寿を目指しこの同期会が続くことを祈念しつつ。

前 寿二



高校7期同窓会開催の御案内

日時 平成23年4月6日(水)
会場 ダイワロイネットホテル和歌山

最後の同窓会です。
是非の御参加を!

金山寺醬造元

太田久助吟製

太田 庄輔 (高15期)

〒643-0004 和歌山県有田郡湯浅町北町
TEL (0737) 62-2623
FAX (0737) 62-4811

デジカメよりプリントは
超高画質フジカラー純正で20分仕上げ!

フォトショップ・プリンター

オークワ湯浅店 TEL(0737)63-2170
オークワ吉備店 TEL(0737)52-7808

来年 創立160周年

母校の更なる飛躍と発展を!

下 野 憲 英 (高13期)

小畑産業株式会社

代表取締役 小畑 英三
(高18期)

〒640-8033 和歌山県本町3丁目18番地
TEL 073-423-4148 FAX 073-431-4505
ei-kobata@kbits.jp

郵便振替口座の開設について (口座番号) 00900-5-298293 (口座名称) 和歌山県立耐久高等学校同窓会 (加入者払込局) 湯浅郵便局



絆 空手部の巻

部活OB・OGたちの
耐久高校空手道部は、30年以上の歴史を持ち、これまでに19回の全国大会出場を誇る、伝統あるクラブです。なかでも、

昭和51年には、全国高校空手道選手権大会男子防具組手において、個人優勝を成し遂げています。部員数は、3年生5名・2年生5名・1年生7名の計17名で、6月の総体以降3年生が引退し、1・2年生（女子のみ）で活動が続いています。

空手道には、突き・蹴り・打ちを用いて相手と対戦し、寸止めによるポイントで勝敗を決する組手競技と、相手の動きを想

定し、各種の技を決まった順序で演舞する形競技があります。また、どちらにも個人戦と団体戦があり、トーナメント方式で競技が進められます。最近では、全国大会で活躍する選手も多くが小さい頃からの経験者で、高校から始めた選手はほんのわずかです。本校では、ほとんどが初心者ですが、日々の練習を大切にし、経験者に勝てるよう努力しています。

本年度は、総体で力を発揮することはできませんでしたが、夏の選手権大会では、女子団体組手で2位になることができました。また、秋の新人大会でも、女子団体形3位・団体組手2位・個人組手3位と、3種目で近畿大会への出場権を得ました。

今後は、大会での好成績を目標とする一方、誰からも好かれ、誰からも必要とされる人間を目指し、身体を鍛えるとともに、心の成長を促せるクラブ活動にしたいと考えています。

皆さんのご声援を、よろしく
お願いします。

顧問 中 啓紀

Echo!

で案内されている写真
等が掲載されており
話題を呼んでいる。



同窓俳壇

・白魚の命滴る四ツ手網
・紀の海へ雛舟送る波頭

同窓柳壇

・たんか切る片肌脱ぎも古語辞典
・香水のかぎ分けもでき喜寿を生く

同窓歌壇

・蟹つりの子わすれしか赤帽子
軒に吊して三日すぎたり

・母ひとり橋の上にて笑む写真
湯の峰辺と辿りて捜す

端野 文子 (高12期)

凡 骨 堂 (高4期)

西 島 志げ子 (高1期)

下 野 香代 (高20期)

◎県下秋季軟式野球大会
(新人戦)での優勝、そして近畿大会での初王者に！

軟式ナインの健闘に大いなる拍手を贈りたい。

二本の優勝旗は校長室に誇らしげに輝いている。

◎「稲むらの火」を大々的に取らえた教科書が今回、四社程から出版されることになり小学三・四年用(日本文教出版)には清水勲先生のお話や現地

◆ご献金に感謝

- ・旧事務職員の会様
- ・有田高女同窓会様
- ・旧中42期同窓会様
- ・高校13期同窓会様
- ・高校31期同窓会様

◎計報 高校第六代校長
広井隆先生が昨年十月に黄泉の人となりました。(享年八十九歳) 四期生同窓会とは特に親交深く平成十九年五月、河口湖畔うぶやで同部屋だったのが先生との最後の旅となりました。謹んでご冥福をお祈り致します。(橋本)

『編集後記』

「東雲なびく生石山、夕日に映ゆる那智の海」 校歌のごとく自然は今、柔らかな春の光に包まれています。

関東耐久会をはじめ各期の同窓会が、それぞれ活発に活動されている様子が報告されています。また、俳壇・柳壇・歌壇に寄稿していただいた方々有難うございました。これからも皆様方からの多くの投稿をお待ちしています。

今号の特集として、日本の伝統的芸能、能楽「喜多流」の事務局として、長年ご活躍されています総田博美氏に「様々な文化との出会い」と今後の活動について執筆をいただきました。

来年開催される創立160周年記念事業に向けて実行委員会が昨年9月に発足し、その準備が着々と進んでいます。

卒業される生徒の皆さん。二十一世紀の中核となる君たちの門出を心から祝福し、将来の活躍を期待しています。本校で学んだ数々の思い出を心の糧として、夢の実現に向かって邁進し、さらに母校を忘れず、同期の交友を一層広め深めてください。

耐久同窓会はいつまでも皆さんの心のふるさとでありたいと、応援しています。

花ひとり開くにあらず
春風来たりて開くなり

道元

本会報の発行に際し、多くの方々からご支援・ご協力をいただき、心からお礼を申し上げます。